

報告事項 4

平成31年度県立高等学校の統合及び学科・コースの新設・改編について

このことについて、別紙資料に基づき報告します。

平成30年7月12日

高等学校教育課

平成31年度県立高等学校の統合及び学科・コースの新設・改編について

1 概要

平成31年度に一部の県立高等学校において、学校の統合及び学科・コースの新設及び改編を行います。

2 経緯

県教育委員会では、時代の変化やグローバル社会を生きる多様な生徒のニーズを踏まえた高等学校づくりを推進するため、平成27年3月に「県立高等学校教育推進基本計画」を、平成28年2月に「県立高等学校教育推進実施計画（第1期）」を策定しました。

これらの計画を踏まえ、平成31年度に県立高等学校2校を統合するとともに、県立高等学校4校で学科を改編し、さらに普通科2校でそれぞれ、コースを新設、改編することとしました。

3 学校の統合

学校名	学科名	ねらい
県立新城有教館高等学校 ※新城東高等学校と 新城高等学校を統合	総合学科 (既設校：10校)	文理系3系列、専門系4系列からなる7系列を設置し、高大接続改革や地域産業界との連携を踏まえた多彩な教育活動をとおして、幅広い進路希望に対応し、将来各分野で活躍できる人材の育成を目指す。

4 学科の改編

学校名	学科名	ねらい
県立知立高等学校	普通科・総合ビジネス科・情報処理科 →総合学科 (既設校：10校)	普通科・職業科の伝統に、新たな学びを加えた7系列を設置し、キャリア教育の視点を大切にした体験的な学びをとおして、これからの社会で活躍する創造性と意欲あふれる人材の育成を目指す。
県立刈谷北高等学校	国際教養科 (既設校：千種、尾北、御津)	普通科の国際理解コースとして培った実績を生かし、言語運用能力の向上を目指す英語や第二外国語の授業、海外姉妹校との連携等をとおして、国際理解教育を一層推進し、グローバルに活躍できる人材の育成を目指す。

県立小牧工業高等学校	航空産業科 (本県初)	今後、大きな成長が期待される地域産業のニーズを踏まえ、航空工学の基礎や航空機に関する設計、生産、整備に関する知識・技術・技能を習得し、本県の航空宇宙産業の発展に寄与できる人材の育成を目指す。
県立名南工業高等学校	情報技術科・化学工業科 →エネルギーシステム科・エネルギー化学科 (本県初)	本県のエネルギー産業の集積地である地域のニーズを踏まえ、エネルギー制御から新エネルギーを活用したエネルギーの生産・供給までの技術・技能を身に付けた産業人材の育成を目指す。

5 コースの新設

学校名	コース名	ねらい
県立中村高等学校	国際理解コース 40名 (既設校:一宮西、津島、常滑、刈谷北、安城東、豊橋東)	これまで推進してきた国際理解教育の取組を踏まえ、コミュニケーション活動を重視した英語の授業や海外姉妹校との相互訪問等をとおして、自国や他国の歴史や言語に対する理解を深め、国際社会で活躍できる人材の育成を目指す。

6 コースの改編

学校名	コース名	ねらい
県立東浦高等学校	情報ビジネスコース 40名 (既設校:守山、尾西、衣台、一色)	情報活用コース※としての実績を元に、情報科目に職業科目を加えた教育課程を編成し、ICT機器の活用能力の向上を目指した学びをとおして、高度情報化社会で求められる資質・能力を身に付けた人材育成を目指す。

※ 情報活用コース：コンピュータ等の情報機器を活用した情報処理の方法や、インターネット等による新しい情報伝達方法を学習し、高度情報通信社会で生活するのに役立つ力の育成を目指す。